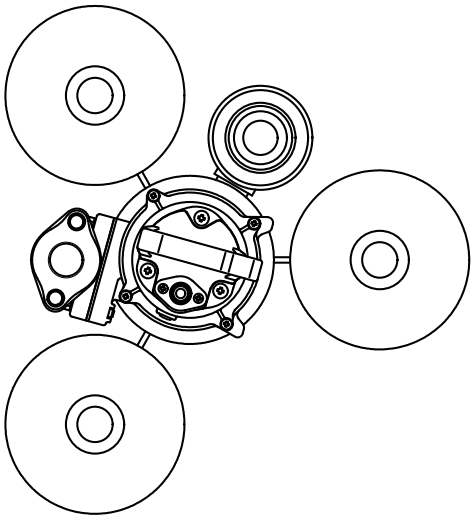
TERADA

取扱説明書

フロートポンプ

ＤＳＦ形



- このたびはテラダ フロートポンプをご採用いただき誠にありがとうございます。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになられる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- この取扱説明書で扱う範囲は、フロートポンプのみとし特殊仕様品はそれぞれの取扱説明書もしくは図面によるものとします。
- お読みになられたあとは、いつも手元においてご使用ください。

もくじ

安全上のご注意……１～２
お使いになる前に（設置のしかた）……３～６
運転のしかた……７
保守・点検 ……７～８
修理を依頼する前に……８
製品の記録……９
営業所一覧……１０

標準付属品

吐出しホース（φ25：4m）……１
相フランジ……１
25Aホースニップル……１
25Aホースバンド……２
吊り下げロープ……１
取扱説明書……１冊
（スピードコントローラ：DSF−150/151 のみ……1）

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警 告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注 意　誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

●絵表示について

🛇 禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が示されています。

❗ 行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容が示されています。

⚠ 警 告

●40℃以上の液、ガソリン・シンナーなどの引火性のある危険物や薬品などの化学薬品は使用しないこと。

火災・爆発や思わぬ事故、故障の原因になります。

●ぬれた手で電源プラグや電源スイッチに触れないこと。（アース接続すること。）

感電の恐れがあります。

●修理技術者以外の人は分解したり、修理や改造をしないこと。

異常動作をしてケガをしたり、故障の原因になります。

●アース接続を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。（アースは電気工事業者による第3種接地工事が必要です。）

感電の原因になります。

⚠ 注 意

●掃除や点検をする時は、必ず電源を切ってから行うこと。

思わぬ事故の原因になります。

●製品各部の定期点検を実施すること。

故障、事故防止及び精度維持のため必ず実施してください。

●動かなくなったり、異常がある場合は、直ちに使用を停止し、販売店に連絡すること。

異常が認められた状態で使用つづけると、思わぬ事故の原因になります。

●多量の浮遊スラッジを吸い込まさないこと。

故障の原因になります。

●不安定な状態で装置の移動や運搬はしないこと。

破損や思わぬ事故の原因になります。

●空運転（水が無い状態での運転）をしないでください。

故障の原因になります。

●電源プラグやコンセントに付着したほこりは取り除くこと。

火災の原因になります。

●排水処理されていて定期点検がしやすい場所に据付を行なうこと。

水漏れが起きた場合に思わぬ事故の原因になります。

お願い・注意

●仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

●液質、液温によりご使用できないことがあります。
多量のスラッジや大きな異物を流入させると詰まりの原因となりますのでご注意ください。

●長期間使用されない場合は、電源プラグ及び、配管内の液を抜いてください。故障、詰まり、凍結破損の原因となります。

●電源側には、漏電ブレーカ等の保護装置を必ず設けてください。

ご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

お使いになる前に

標準仕様

ご採用いただきましたフロートポンプ　DSF形の標準仕様を下表に示します。

■仕様表（50/60Hz）

形式	揚程 （m）	吐出し量 （L／min）	表層液 吸い込み量 （L／Hr）	処理液	液温 （℃）
DSF-150	MAX.　4.8/5.0	MAX.　100	MAX. 約1000	水・洗浄液・ 水溶性切削液等	0～40 （凍結なきこと）
DSF-250T	MAX.　6.0/6.0				
DSF-151	MAX.　4.8/5.0		MAX. 約3000		
DSF-251T	MAX.　6.0/6.0				

形式	電源・電圧 （V）	周波数 （Hz）	吐出し口径 （mm）
DSF-150	単相・AC100	50/60	25
DSF-250T	三相・AC200		
DSF-151	単相・AC100		
DSF-251T	三相・AC200		

※油水分離にご使用いただくには、オプションの油水分離槽が必要となります。
　浮遊物回収にご使用いただく場合は、オプションの分離バスケットをお買いもとめください。
※スピードコントロール制御盤、インバータ等についても別途お買いもとめください。

特　徴

■フロート＋ジャバラ式表層液吸込み装置で水位変動でも調整不要

運転可能最低水位以上であれば水位変動にも追従して表層液を確実に吸込みます。

■小型・軽量

小型、軽量で持ち運びが容易に出来ます。
また、狭いところにも設置可能。（円形マンホール内径 φ600 に入ります）

■浮上油、浮遊物を回収、排出

広範囲の水面に浮かんだ油、アオコなどを引き寄せ回収します。

■吸込みポンプはボルテックスタイプのポンプを採用

異物通過径の大きいボルテックスタイプの水中ポンプを採用し、固形物でも詰りにくい構造です。
また、配管したままで、点検・掃除ができるバックプルアウト構造。

用　途

●排水ピット・集中クーラントタンクの浮上油、浮遊物の回収。
●工事現場ピット内の浮上油、浮遊物を含む液の排出。
●各工場、水処理等の循環水、排水の浮上油、浮遊物の除去。
　※放流（排水）の前には、必ず液質の確認を行ってください。

お使いになる前に

荷ほどき点検

商品がお手元に届きましたら、下記の事をお調べください。

（1）ご注文通りの物かご確認ください。

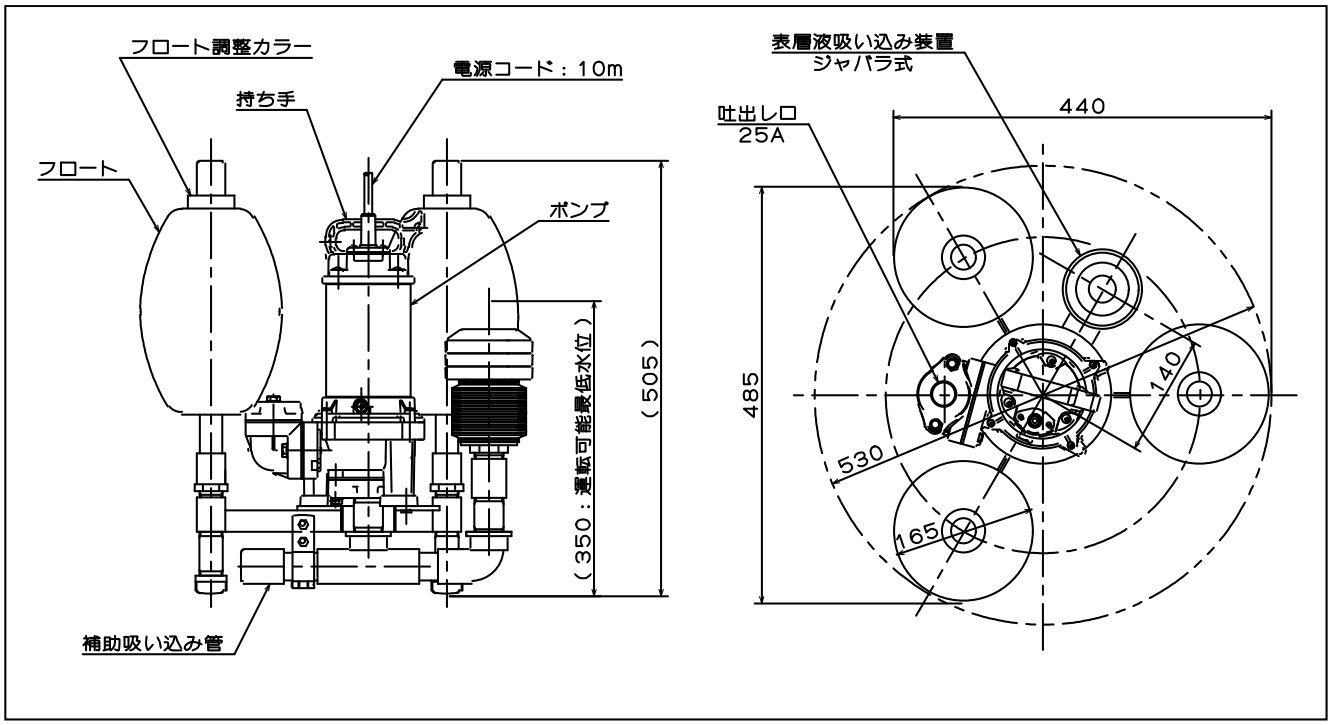
（2）輸送中の傷や破損がないかご確認ください。

（3）付属品が全てそろっているかご確認ください。

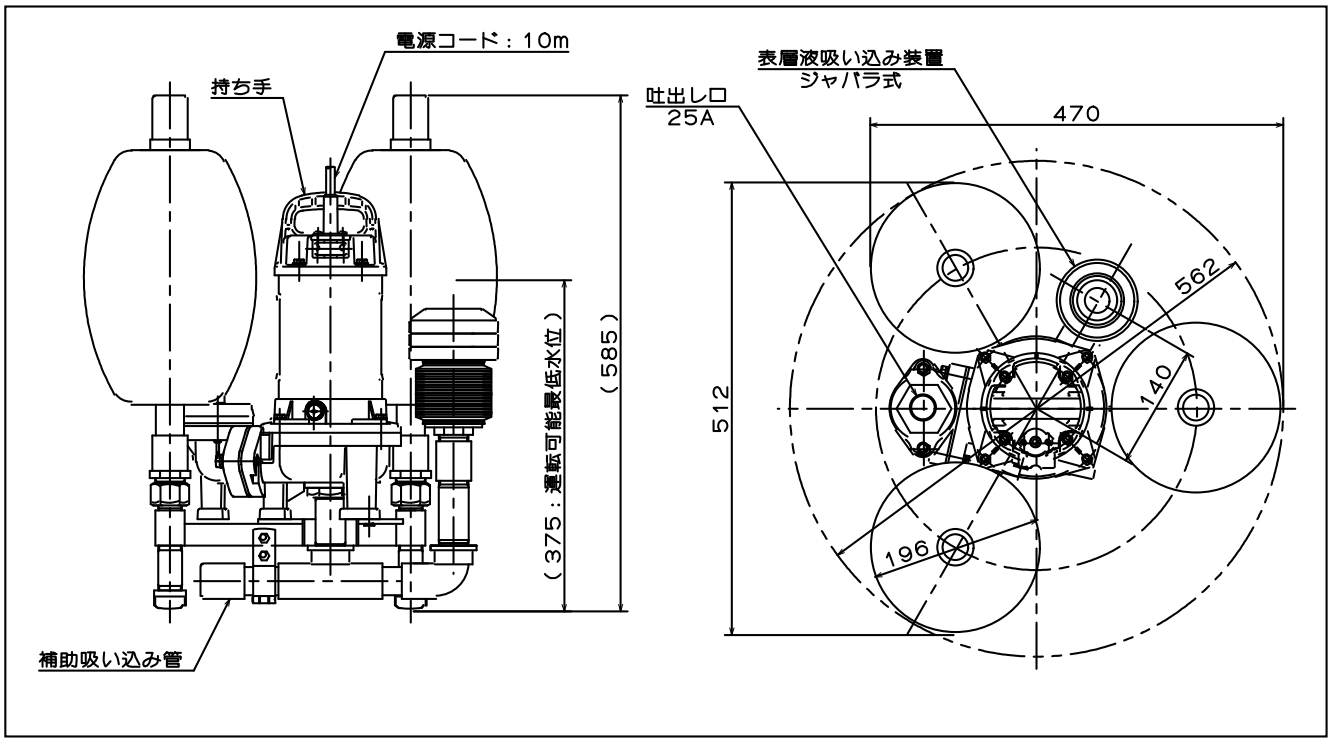
（4）万一不具合な点がありましたら、ご購入先に銘板形式・製造番号をお知らせ頂きお問い合わせください。

各部の名称

（DSF-150）

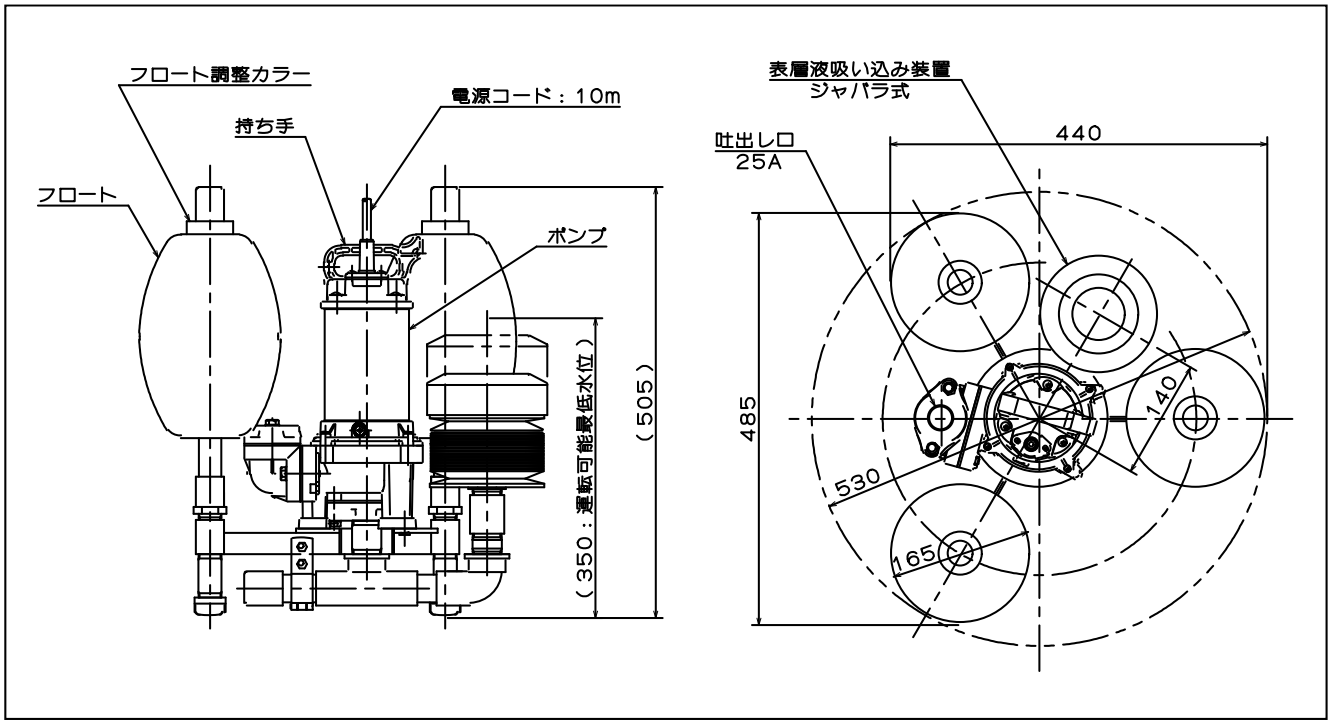


（DSF-250T）

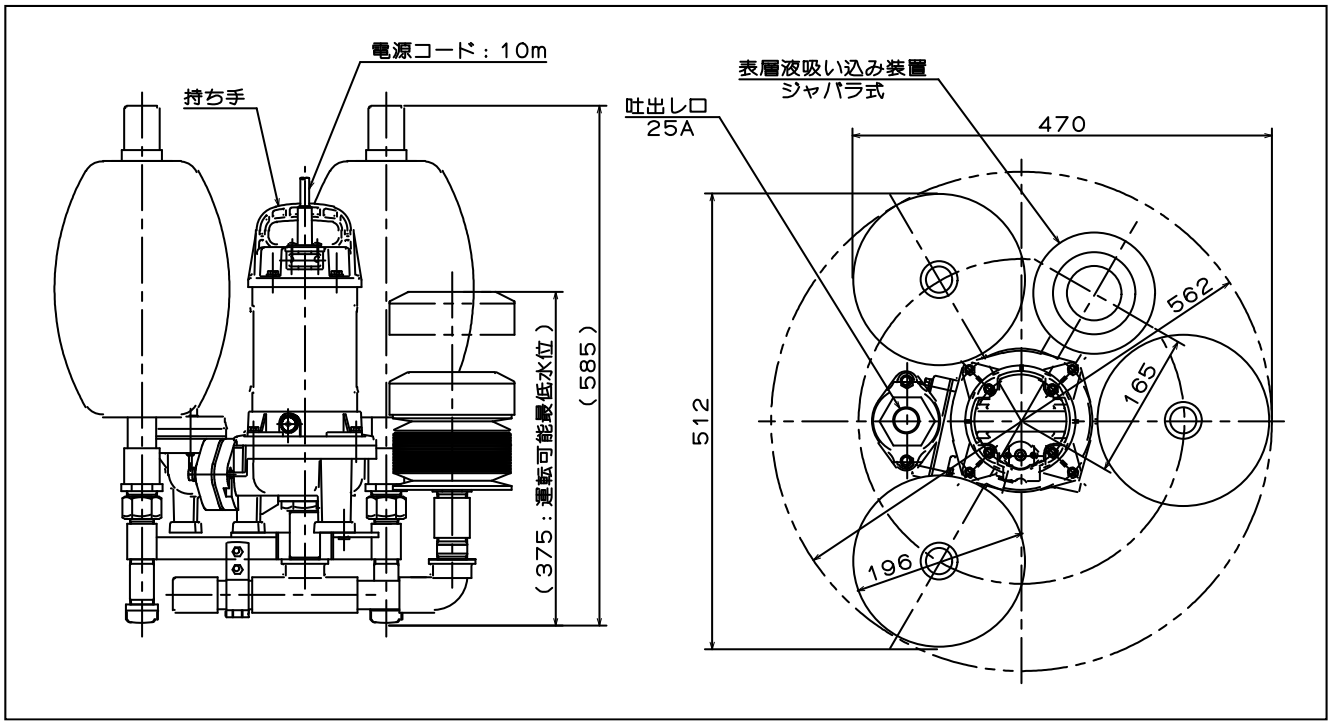


各部の名称

（DSF-151）



（DSF-251T）



注意事項

⚠ 警告・注意

（1）装置の移動や運搬の際には、落下、転倒に注意してください。

（2）吐出しホース・電源ケーブル等を持ってポンプの設置を行なわないでください。
落下や電源ケーブルの断線等、故障の原因になります。

（3）連続運転される場合は、運転可能最低水位以上の水位でご使用ください。
水位が低いとポンプの電動機が熱くなり、保護装置が作動し、ポンプが停止します。（何度も保護装置が作動すると故障の原因となります。）また、表層液も正常に吸込むことが出来ません。

（4）必ずアースを取付けてください。

（5）海水や塩分を含む水には使用しないでください。腐食して故障や漏電の危険性があります。

（6）本装置の周囲には保守・点検スペースや配管・作業スペースを確保してください。

⚠ 警告・注意	
●人が入っている水中でポンプを運転しないこと。 感電の原因になります。	●吸込み装置（ジャバラ装置）は、のばしてから使用すること。 ジャバラ部が粘着してのびない場合がありますので使用前に一度延ばしてから使用ください。

設置のしかた

（1）設置される槽に多量の異物・ゴミ等が浮かんでいる場合、運転直後に吸込み装置（ジャバラ装置）やポンプに詰ってしまう場合がありますので、出来るだけ設置前に異物等を取り除いてください。

（2）ポンプの設置及び、定期点検時用にポンプ持ち手部に吊り下げロープ等を取付け、ゆっくり水面に浮かべてください。
故障・事故の原因となりますので、吐出しホースや電源ケーブル等を持っての上げ下げは行なわないでください。
また、ポンプを水面に投げ入れるようなことは絶対に行なわないでください。

（3）設置場所の水深は運転可能最低水位以上の場所でご使用ください。液面が運転可能最低水位以下で運転するとポンプの電動機が熱くなり、保護装置が作動してポンプが停止する場合があります。自動復帰式の保護装置ですので、ポンプの電動機が冷却されると急に再起動しますのでご注意ください。

（4）吊り下げロープ、吐出しホース、電源ケーブルは、設置される槽の水深に合わせた長さで固定してください。水位変動が大きい場合に短い状態で固定いただくと、水位が下がった場合にポンプが宙吊りとなり、ポンプの故障原因となります。

（5）ポンプを浮かべてポンプが傾いている場合は、フロート調整カラーでフロートの上限高さを調整して出来るだけポンプが垂直になるように調整してください。

（6）吐出しホースの先端が移送先の槽の水中に入っている場合、高低差によりポンプ停止時にサイホンの作用により液が逆流する場合があります。また、ポンプを運転している液面より吐出しホースの先端が低い場合、ポンプを停止してもサイホンの作用で液が流出してしまいますのでご注意ください。

運転のしかた

（1）据付、配管が正しく施工されていることを再度確認してください。

（2）電源側には、漏電ブレーカ等の保護装置を必ず設けてください。

（3）ポンプ電源プラグをスピードコントローラ（制御 BOX）のコンセントに差し込んでください。（DSF-150／151）

（4）スピードコントローラ（制御 BOX）の速度ツマミを動かして吸込み装置（ジャバラ装置）が上下に適切に動くように調整をおこなってください。 ※DSF-250T／251T は別途インバータをご用意ください。

（吸込み装置（ジャバラ装置）が上下に動くか、10mm程度水面より沈んで表層液を吸い込んでいる事を確認してください。）
ポンプが動いているのに吸込み装置（ジャバラ装置）の吸口部が液面上にあり、表層液を吸い込まない場合は、水位が低過ぎるか、ジャバラ内に異物が詰った等が考えられますのでご確認ください。吐出し量および吐出し高さを増やしたい場合は、補助吸い込み管に取り付けてあるキャップを外してください。）

（5）大きなゴミ等の異物が多い場合は、ポンプの各吸い込み口まわりに金網などの「ごみよけ」を設けてください。

（6）運転を終了する時は、電源スイッチを切り、長期運転されない場合は、コンセントより電源プラグをぬいてください。

⚠ 注意

- 停電時には電源を切り、ポンプを停止してください。復旧後の不意のポンプ始動はポンプ付近の人に危険です。
- ポンプ電動機部が高温になっている場合がありますので、運転中、運転終了直後は素手でポンプに触れないでください。火傷の恐れがあります。

保守・点検

フロートポンプを末永くご使用いただくために、定期点検を実施してください。

⚠警告

●掃除や点検をするときは、電源プラグを抜くか、電源を切ること。

（1）異物詰りの点検

【ポンプケーシングと羽根車の点検掃除】

バックプルアウト構造のため、ケーシングカバーのねじ4本を外すだけでポンプを点検することができます。

ケーシング内や羽根車に詰ったゴミ等を取り除いて、きれいに洗浄してください。

【吸込み装置（ジャバラ装置）及び配管の点検掃除】

吸い込み量や吐出し量が減った場合、吸込み装置（ジャバラ装置）内部や配管内に液とともに吸い込んだスラッジ等が溜まっている事があります。

定期的に液中から引き上げて清掃を行なってください。ジャバラ（ゴム）は消耗品です。変形等劣化した場合は部品交換してください。

（2）ポンプ潤滑油の点検・交換

潤滑油の点検は 2000 時間ごと（または 6 ヶ月ごと）、交換は 4000 時間ごと（または 12 ヶ月ごと）に行なってください。

・注油口プラグを取り外し、本体を注油口が下側になる様に傾けると潤滑油は抜けます。（完全に抜き取ってください）

・抜き取った潤滑油が白濁している場合や、水が混入している場合は、軸封装置（メカニカルシールなど）もしくはポンプ部の交換が必要です。

弊社代理店または、最寄りの弊社営業所にご連絡ください。

●指定潤滑油＝流動パラフィン P70

●規定潤滑油量＝（DSF－150／151）：100mL ／ （DSF－250T／251T）：175mL

・注油口から潤滑油を規定量注入してください。

（3）絶縁抵抗の測定

500V メガ計を用いて絶縁抵抗を測定してください。

・電源プラグとアース線間で測定し、電動機の絶縁抵抗を確認してください。

●10MΩ以上　　：運転可能です。

●1MΩ～10MΩ：運転は可能ですが、早い機会に電動機およびケーブルの点検が必要です。

●1MΩ以下　　：運転しないでください。

※ 異常を認めた時は、直ちに使用を停止し、修理（依頼）、その他必要な処置を講じてください。

修理を依頼する前に

⚠ 警告・注意	
●修理技術者以外の人は分解したり、修理や改造をしないこと 異常動作をしてケガをしたり、破損の原因になります。	●異常がある場合は直に運転を停止し、販売店に連絡すること そのまま無理に使用すると、思わぬ事故の原因になります。

「故障かな？」と思ったら、まず次のことをお調べください。

※スピードコントローラが付かない設定機種の場合は、スピードコントロールが原因の項目は無視してください。

現　象	原　因	対　策
・ポンプが回らない	・停電している	・電気工事店または電力会社に連絡する
	・電圧が低すぎる	
	・電源プラグ及び電源回路の接続不良	・接続部分の点検
	・羽根車にゴミかみこみ	・ゴミを取り除く
	・スピードコントロール調整不良	・回転速度を大きくする
	・スピードコントローラのヒューズ切れ	・ヒューズ交換
・ポンプが運転中に停止する	・運転可能最低水位以下で運転している	・水位を上げる
	・水温が高い	・水温を下げる
	・電圧が低下している	・配線を太く、短くする
	・50Hz 用ポンプを 60Hz で使用	・銘板を確認する
	・羽根車にゴミかみこみ	・ゴミを取り除く
	・スピードコントロール調整不良	・再調整/回転速度を大きくする
・浮遊物、浮上油を吸込まない	・ジャバラ内のゴミ詰り	・ゴミを取り除く
	・ジャバラの粘着	・ジャバラを延ばす
	・補助吸い込み管の詰り	・清掃
	・ジャバラの劣化	・交換、修理
	・スピードコントロール調整不良	・再調整

それでも具合の悪い時は、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。

販売店へご連絡する時は、銘板に記載の形式・製造番号、お買い上げ年月日と故障状況をお知らせください。

⚠ 清掃するときの注意

● 手袋、作業服、防護メガネ等を使用して作業を行ってください。清掃中、液等が飛散って汚れたり、ケガする危険性がありますので注意して作業を行ってください。

部品交換（アフターサービス）

● 部品の発注及び修理などのお問い合わせは、形式、製造番号、ご購入日（故障状況）をご確認の上、お買い求めの販売店又は最寄の弊社営業所へお申し付けください。

製品（部品）の廃棄について

● 製品（部品）を廃棄する場合は、分解し、分別処理して廃棄物処理を行ってください。

■製品の記録

購入年月日	年　　月　　日
購　入　先	
使用開始年月日	年　　月　　日
形　　式	
製造番号 No.	
点検 ・ 整備 ・ 修理等	

営業所一覧表

アフターサービスはお買い求めの販売店へ

● 東京支社　〒120－0043　東京都足立区千住宮元町13－13　千住MKビル9F
TEL 03－6625－8558㈹　FAX 03－6625－8557

神奈川営業所　〒252－0134　神奈川県相模原市緑区下九沢2125－1－101
TEL 042－774－3670㈹　FAX 042－774－3671

北関東営業所　〒360－0015　埼玉県熊谷市肥塚2丁目7番28
TEL 048－523－2654㈹　FAX 048－525－5216

仙台営業所　〒984－0011　仙台市若林区六丁の目西町 3-33
TEL 022－287－0231㈹　FAX 022－287－0235

● 名古屋営業所　〒457－0004　愛知県名古屋市南区中江2丁目2番9号
TEL 052－819－0188㈹　FAX 052－819－0180

静岡営業所　〒420－0884　静岡県静岡市葵区大岩本町 26-32　ﾊﾟｰｸｻｲﾄﾞ城北 1F-C
TEL 054－200－1002㈹　FAX 054－200－1003

● 大阪支社　〒540－0011　大阪府大阪市中央区農人橋二丁目 1 番 30 号　谷町八木ビル9F
TEL 06－6940－1177㈹　FAX 06－6940－1178

岡山営業所　〒700－0971　岡山県岡山市北区野田三丁目9－10－2　岡崎事務所 1F東
TEL 086－245－4497㈹　FAX 086－245－7246

高松営業所　〒761－8078　香川県高松市仙生山町甲836番地1ｶﾞｰﾃﾞﾝﾊｲﾂﾋﾟｭｱ 101 号
TEL 087－888－5118㈹　FAX 087－888－5119

● 福岡営業所　〒812－0016　福岡県福岡市博多区上牟田 1 丁目 6 番 15 号ｳｨｽﾀﾘｱ東比恵ベース E-1
TEL 092－411－7555㈹　FAX 092－411－7585

広島営業所　〒731－5136　広島県広島市佐伯区楽々園 3 丁目 5 番 28 号　楽々園Nビル 101 号室
TEL 082－563－7486㈹　FAX 082－563－7487

■ お電話でのお問い合わせ　月～金　9:00～12:00 , 13:00～17:00（土、日、祝日、大型連休を除く）

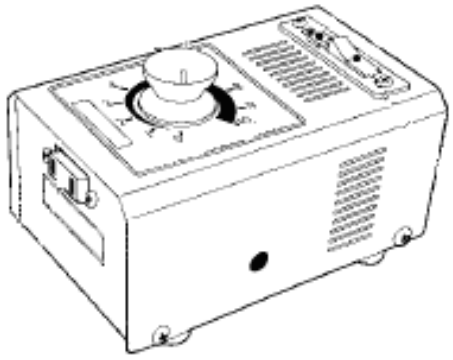
株式会社 寺田ポンプ製作所
〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町 3 番 17 号
TEL 0745-52-5101㈹　FAX 0745-23-0013
E-mail : info@teradapump.co.jp
http://www.teradapump.co.jp/

2024.11

TERADA

取扱説明書

フロートポンプ用（ＤＳＦ−１５０用）スピードコントローラ ＳＰ−１０５形



- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになられる前に取扱説明書をよくお読みください。
- この取扱説明書で扱う範囲は、フロートポンプ用スピードコントローラのみとし、ポンプ部につきましては、フロートポンプの取扱説明書をお読みください。
- お読みになられたあとは、いつも手元においてご使用ください。

もくじ

安全上のご注意……１〜２
お使いになる前に……２〜３
各部の名称・操作手順……３〜４
修理を依頼する前に……４
製品の記録……５
営業所一覧……６

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警 告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注 意　誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

●絵表示について

禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が示されています。

行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容が示されています。

⚠ 警 告	
●DSF－150のスピードコントロール以外に使用しないこと。 思わぬ事故、故障の原因になります。	● ぬれた手で電源プラグや電源スイッチに触れないこと。（アース接続すること。） 屋内用ですので雨、水がかからない場所で使用すること。 感電、漏電の恐れがあります。
●修理技術者以外の人は分解したり、修理や改造をしないこと。 異常動作をしてケガをしたり、故障の原因になります。	●アース接続を必ず行うこと アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。（アースは電気工事業者によるＤ種接地工事が必要です。） 感電の原因になります。
⚠ 注 意	
●電源プラグやコンセントに付着したほこりは取り除くこと。 火災の原因になります。	●動かなくなったり、異常がある場合は、直ちに使用を停止し、販売店に連絡すること。 異常が認められた状態で使用つづけると、思わぬ事故の原因になります。

●仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

ご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

お使いになる前に

標準仕様

フロートポンプDSF－150用スピードコントローラの標準仕様を下表に示します。

■仕様表（50/60Hz）

形式	相数	定格電圧	使用温度範囲	制御方式	最大負荷電流
SP-105	単相	AC100V	0℃～+45℃	トライアック 位相制御	5A

ヒューズ	使用場所	外形寸法（約）	質量	その他
5A	屋内	W80×L145 ×H90（mm）	0．63kg	・電源スイッチ付 ・ノイズ防止付

※ 屋外用スピードコントロール制御盤は別途ご用命ください。

特　徴・用　途

■フロートポンプDSF−150ジャバラ式表層液吸込み装置の動きを適正に調整可能

ポンプ電動機の回転をコントロールして、ポンプ側の吐出し高さに関係なく、ジャバラ式表層液吸込み装置が適正に上下に動き、表層液を効率良く吸込むように調整することが可能です。

■小型・軽量

小型、軽量で持ち運びが容易に出来ます。

お使いになる前に

荷ほどき点検

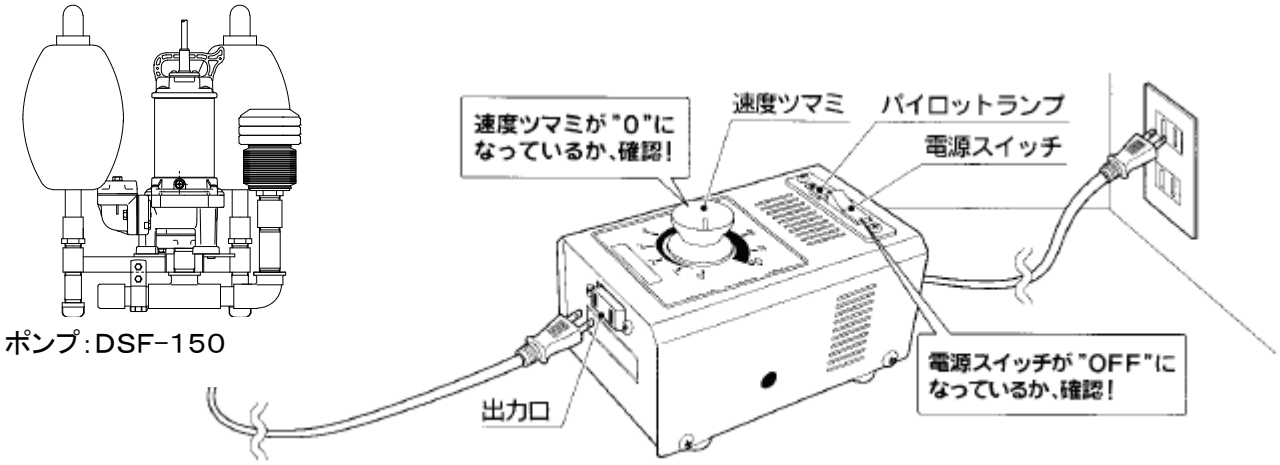
商品がお手元に届きましたら、下記の事をお調べください。

（1）ご注文通りの物かご確認ください。

（2）輸送中の傷や破損がないかご確認ください。

（3）万一不具合な点がありましたら、ご購入先に銘板形式・製造番号をお知らせ頂きお問い合わせください。

各部の名称・操作手順



（1）スピードコントローラの電源コード差し込みプラグを電源コンセントに差し込みます。

⚠ **注意**

● 〔電源スイッチ：OFF〕〔速度ツマミ：0〕になっていることを良く確認して、電源コード差し込みプラグを電源に差し込んでください。

（2）フロートポンプDSF−150の電源コードの差し込みプラグをスピードコントローラの出力口に差し込みます。

（3）電源スイッチをONにするとパイロットランプが点灯します。

（4）速度ツマミを時計方向に回すとポンプ電動機が回転し、ポンプが動きだします。

“10”の位置で最大になり、反時計方向に回していくと途中でポンプが停止します。

スピードコントローラの速度ツマミを動かしてフロートポンプの吸込み装置（ジャバラ装置）が上下に適切に動くように調整をおこなってください。

（吸込み装置（ジャバラ装置）が上下に動くか、10mm程度水面より沈んで表層液を吸込んでいる事を確認してください。ポンプが動いているのに吸込み装置（ジャバラ装置）の吸口部が液面上にあり、表層液を吸い込まない場合は、水位が低過ぎるか、ジャバラ内に異物が詰った等が考えられますのでご確認ください。）

（5）運転を終了する時は、速度ツマミを反時計方向いっぱい回し“0”位置にして、電源スイッチを切り、長期運転されない場合は、コンセントより電源コード差し込みプラグをぬいてください。

⚠ **注意**

● 停電時には電源を切り、ポンプを停止してください。復旧後の不意のポンプ始動はポンプ付近の人に危険です。
また、ポンプ電動機の回転速度がポンプ停止ギリギリに調整してある場合は、電源スイッチでだけのON／OFFではポンプが起動しない場合があります。速度ツマミで必ず調整して起動させてください。

※ 異常を認めた時は、直ちに使用を停止し、修理（依頼）、その他必要な処置を講じてください。

修理を依頼する前に

⚠ 警告・注意	
●修理技術者以外の人は分解したり、修理や改造をしないこと 異常動作をしてケガをしたり、破損の原因になります。	●異常がある場合は直に運転を停止し、販売店に連絡すること そのまま無理に使用すると、思わぬ事故の原因になります。

「故障かな？」と思ったら、まず次のことをお調べください。

現　象	原　因	対　策
・ポンプが回らない	・停電している	・電気工事店または電力会社に連絡する
	・電圧が低すぎる	
	・電源プラグ及び電源回路の接続不良	・接続部分の点検
	・ポンプ羽根車にゴミかみこみ	・ゴミを取り除く
	・スピードコントロール調整不良	・回転速度を大きくする
	・スピードコントローラのヒューズ切れ	・ヒューズ交換
・ポンプが運転中に停止する	・連続運転可能最低水位以下で運転している	・水位を上げる
	・水温が高い	・水温を下げる
	・電圧が低下している	・配線を太く、短くする
	・50Hz 用ポンプを 60Hz で使用；保護装置作動	・銘板を確認する
	・羽根車にゴミかみこみ	・ゴミを取り除く
	・スピードコントロール調整不良	・再調整：回転速度を大きくする
・浮遊物、浮上油を吸込まない（ジャバラ吸込み装置の動作不良）	・ジャバラ内のゴミ詰り	・ゴミを取り除く
	・ジャバラの付着	・ジャバラを延ばす
	・補助吸い込み管の詰り	・清掃
	・ジャバラの劣化	・交換、修理
	・スピードコントロール調整不良	・再調整

それでも具合の悪い時は、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。
販売店へご連絡する時は、銘板に記載の形式・製造番号、お買い上げ年月日と故障状況をお知らせください。

部品交換（アフターサービス）

● 部品の発注及び修理などのお問い合わせは、形式、製造番号、ご購入日（故障状況）をご確認の上、お買い求めの販売店又は最寄の弊社営業所へお申し付けください。

製品（部品）の廃棄について

● 製品（部品）を廃棄する場合は、分解し、分別処理して廃棄物処理を行ってください。

■製品の記録

購入年月日	年　　月　　日
購　入　先	
使用開始年月日	年　　月　　日
形　　式	SP－105
製造番号	No.
点検 ・ 整備 ・ 修理等	

営業所一覧表

アフターサービスはお買い求めの販売店へ

● 東京支社　〒120－0043　東京都足立区千住宮元町13－13　千住MKビル9F
TEL 03－6625－8558㈹　FAX 03－6625－8557

神奈川営業所　〒252－0134　神奈川県相模原市緑区下九沢2125－1－101
TEL 042－774－3670㈹　FAX 042－774－3671

北関東営業所　〒360－0015　埼玉県熊谷市肥塚2丁目7番28
TEL 048－523－2654㈹　FAX 048－525－5216

仙台営業所　〒984－0011　仙台市若林区六丁の目西町 3-33
TEL 022－287－0231㈹　FAX 022－287－0235

● 名古屋営業所　〒457－0004　愛知県名古屋市南区中江2丁目2番9号
TEL 052－819－0188㈹　FAX 052－819－0180

静岡営業所　〒420－0884　静岡県静岡市葵区大岩本町 26-32　ﾊﾟｰｸｻｲﾄﾞ城北 1F-C
TEL 054－200－1002㈹　FAX 054－200－1003

● 大阪支社　〒540－0011　大阪府大阪市中央区農人橋二丁目 1 番 30 号　谷町八木ビル9F
TEL 06－6940－1177㈹　FAX 06－6940－1178

岡山営業所　〒700－0971　岡山県岡山市北区野田三丁目9－10－2　岡崎事務所 1F東
TEL 086－245－4497㈹　FAX 086－245－7246

高松営業所　〒761－8078　香川県高松市仏生山町甲836番地1ｶﾞｰﾃﾞﾝﾊｲﾂﾋﾟｭｱ 101 号
TEL 087－888－5118㈹　FAX 087－888－5119

● 福岡営業所　〒812－0016　福岡県福岡市博多区上牟田 1 丁目 6 番 15 号ｳｨｽﾀﾘｱ東比恵ベース E-1
TEL 092－411－7555㈹　FAX 092－411－7585

広島営業所　〒731－5136　広島県広島市佐伯区楽々園 3 丁目 5 番 28 号　楽々園Nビル 101 号室
TEL 082－563－7486㈹　FAX 082－563－7487

■ お電話でのお問い合わせ　月～金 9:00～12:00 , 13:00～17:00（土、日、祝日、大型連休を除く）

株式会社 寺田ポンプ製作所
〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町 3 番 17 号
TEL 0745-52-5101㈹ FAX 0745-23-0013
E-mail : info@teradapump.co.jp
http://www.teradapump.co.jp/

2024.11